



# 学校だより

令和5年2月28日

No. 12 3月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 人とかかわり、支えられて

学校長 金子 博美

桜の花の蕾もほころび始め、窓から注ぐ日差しや吹く風にあたたかさを感じる頃となりました。

登校時に門で「おはようございます」と元気に先生にあいさつすることから始めた1年生も、今では、廊下で「こんにちは」、来室すると「失礼します」、手を貸すと「ありがとうございます」、帰るときに昇降口で会つと「さようなら」…実に多彩なあいさつをすることができるようになりました。まさに、今年度の学校保健委員会の取組目標「いつでも どこでも 自分から」を表す姿です。2月15日に行った第2回学校保健委員会では、6年生の取組発表の中に「あいさつは、コミュニケーション」という言葉がありました。子どもたちも、「あいさつ」は単にその場だけのものではないことを知っていること、かかわりのきっかけとして「あいさつ」の大切さに気付いていることがわかり、取組の成果を感じました。会の後半、保健安全担当の教員が考案した「あいさつダンス」の動画を流すと、各教室にいる子どもたちは、画面を見ながら体を動かしました。この動画、子どもがすぐにできる簡単な動きを組み合わせ、あいさつすることの楽しさをうたっています。まさに、「あいさつはコミュニケーション♪」です。一緒に踊る仲間と目を合わせる振り付けもあり、一人よりみんなで楽しむようにできています。あいさつを日常化するためにこんなアイデアがあったとは。このダンスに親しむことで、さらに子どもたちがあいさつに注目し、周囲の人とかかわろうとする態度が浸透するように支援を続けていきたいと思えます。

つい先日のこと、私が教職について間もないころからの友人より、久しぶりに連絡がありました。互いの近況を報告する中で、教頭の立場から職員に発信したいこと、よりよい授業のために挑戦したいことを語る友人に刺激を受けました。ホームページに掲載している本校の学校だよりを毎月読んでいたことも知り、驚きつつ、友人の存在を心強く思いました。自分自身、かかわりに支えられていることを実感した瞬間でした。そして、またいろいろな報告ができるように頑張ろうと思えました。

人は、常にだれかとかかわり、その中で影響を与え合うものです。身近な人とかかわりでは、楽しさや元気、勇気をもらい、それが自分の支えや励みとなることもあるでしょう。3月です。毎日共に過ごしてきた学級や学年の仲間、毎朝一緒に登校してきた班のメンバー、いつも見守ってくださった家族や地域の方など、子どもたちには、卒業や進級を前にもう一度、自分にはたくさんの人とかかわりがあることに目を向けてほしいと思っています。そして、これまで積み重ねてきたかかわりがあるからこそ味わえる楽しさを感じながら日々を過ごしたり、その支えを励みにして一人ひとりが胸を張って次のステージに進んだりすることができるよう支援していきたいと考えています。

少しずつ取組を始めたとはいえ、今年度も、地域やボランティアの方とのつながりが見えにくい一年となってしまいました。状況をご理解くださり本当にありがとうございます。保護者・地域の皆様からのあたたかいご支援にもあらためて御礼申し上げます。これまで取り組んできたことを絶やすことのないようできるところから再開し、引き続き、多くの方々とつながりやかかわりを大切にしながら学校教育活動を展開していきたいと考えております。

子どもたちを見守り、支えてくださった皆様、一年間、ありがとうございました。